

第6期事業報告書

(令和5年5月1日から令和6年4月30日まで)

特定非営利活動法人結ネットたんぽぽ

1 事業方針

本法人の目的及び事業に対する社会の要望に応えるため、今期においては高齢者等の常設居場所「おしゃべり日和」と「集落居場所」運営・支援、異世代交流の場「週末もおしゃべり日和」の運営を行いながら、そこでのふれあい活動を中心に暮らしの中のちょっとした困りごとを把握し支え合い活動に繋げた。また、行政、関係機関、住民組織等と連携しながらこれからの時代にあった支え合いの仕組みづくりや介護予防事業、圏域を超えての連携・共同事業や将来を担う子ども達との関りを深める活動にも積極的に取り組んだ。

当期は五ヶ瀬町から生活支援コーディネーターと認知症地域支援推進員の業務を受託し、それぞれの立場で関係機関との連携を密にして業務の遂行に努めた。なお、認知症地域支援推進員については3月で終了し、4月から介護予防推進員の業務を受託し介護予防の推進業務を行っている。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 常設居場所事業：ふれあい施設を活用した『おしゃべり日和』

ア 当期は平日週4回でスタートしたが、週1回開催されていた行政主体の認知症カフェが8月から月1回開催となったため、8月からは平日は毎日開所した。多くの高齢者等が足を運び、折り紙や手芸、パズル、ビー玉ゲーム、読書、歌、体操などで思い思いに過ごされる場となり、日常生活上の相談や困りごとを話される高齢者もあり情報共有の場や関係機関に繋ぐ場にもなった。子育て支援センター等との交流事業は感染対策を行いながら実施することができ、平時とは異なる多世代との楽しい交流の機会を提供することができた。また、町立図書館の移動図書「きとらす号」や移動販売車「ごかせマルシェ」にも立ち寄っていただき、本の利用や買い物の機会が増え、大変喜ばれた。

当期も居場所利用時の買い物、病院受診、薬局、予防接種、行政手続等の支援（移動支援含む）を行うとともに、体調不良や身体機能低下、認知機能低下がある方については、家族はもちろん、行政や社協、病院、郵便局、コミバス運転手と情報交換しながら対応にあたり、必要に応じて関係機関（者）との協議の場を設けていただくなどした。

当期も常設居場所の運営協力として、寄付金のほか、茶菓子、野菜、果物、折り紙、パズル、本、花、除菌シート、タオル、しめ縄等多くの方から支援をいただいた。

◎開所日：5月～7月 週4回 8月～ 週5回

213回 延べ利用者1,439名（悪天候による閉館あり）

※土、日、年末年始、祝日、認知症カフェ時は除く

- * 5月 1日：自然の恵み資料館へ「クラフト展」見学
- * 5月10日：〃
- * 5月18日：子育て支援センターへ「人形劇」見学
- * 6月21日：子育て支援センターへ「フリーマーケット」参加
- * 6月28日：宮崎大学医学部研修生受け入れ
- * 7月 5日：子育て支援センターとの七夕交流会
- * 7月26日：自然の恵み資料館へ「坂本貴彦鉛筆画展」見学
- * 8月24日：宮崎大学医学部研修生受け入れ
- * 10月 4日：子育て支援センターとの合同運動会
- * 12月13日：宮崎大学医学部研修生受け入れ
- * 1月31日：宮崎大学医学部研修生受け入れ
- * 2月 7日：子育て支援センターへ「小さな町の音楽会」参加
- * 2月16日：保育所へ「昔遊び」参加
- * 3月29日：木地屋へ「桜まつりマルシェ」参加
- * 通 年：三ヶ所、鞍岡の駐在所より防犯啓発で不定期来所
- * その他、夕日の里作品展への作品づくりや、四季折々の装飾など

イ 集落居場所運営・支援

月1回開催の集落居場所は7箇所を運営。集落行事や悪天候等により中止した月もあったが、それぞれの居場所で様々な工夫を凝らして楽しく過ごしていただくことができた。認知機能の低下があり自宅にこもりがちな高齢者を訪問し、本人や家族から話を聞くなどして、本人の居場所利用につながったケースもあった。また、行政が行う健康維持・介護予防・認知症予防事業も積極的に受け入れた。

- * 牧の居場所…月1回（9時～15時）
- * 内の口の居場所…月1回（9時～15時）
- * 長迫の居場所…月1回（9時～15時）
- * 寺村の居場所…月1回（9時～15時）※年度途中から休止中
- * 4区居場所「お茶飲もや」…月1回（13時30分～15時）
- * 12区居場所「なかよし」…月1回（9時30分～14時）
- * 本屋敷居場所「よこいび」…月1回（9時～11時30分）

ウ 週末の居場所運営

高齢者のみならず、本をツールに世代を超えて緩やかにつながる場（機会）を創るため、ふれあい施設を活用して毎月第1、第3土曜日に『週末もおしゃべり日和』を開いた。平日の利用ができない児童生徒にも活用してもらうことを意図しているが、開設の周知不足もあり利用は少なかった。

◎開所日：第1、第3土曜日：午後1時～午後3時半

13回 延べ利用者8名

エ 新たな集落居場所の開設支援

＊今期は住民からの要望等が無かった

② 見守り事業

ア ひとり暮らしや高齢者世帯の訪問はもちろん、住民や関係機関等からの情報、相談が入った際はできるだけ早く当事者や家族に直接会って話を聞き、支援、行政等への情報提供を行った。

③ 助け合い事業

ア 支え合い活動支援

＊社会福祉協議会と地域福祉委員会（みごかせ会）主催の会議や行事、「加勢の日」（高齢者宅訪問等）への参加、オリジナルカレンダー作りと高齢者宅への個別配付に協力した。

・6/1、7/10、9/25、10/29、11/2、12/2、12/12、3/21)

＊買い物支援の一つである移動販売「ごかせマルシェ」の運営協議への参加、販売時の情報共有、気になる世帯への戸別訪問時の情報を提供するなど連携した。

＊高齢者等から日常生活支援の相談が入った際は、社会福祉協議会や有償ボランティア、地域活動組織に情報提供しながら協力して支援を行った。

＊支え合い推進の啓発につながる協議や活動の場に積極的に参加した。

＊福祉課や社会福祉協議会と連携して桑野内地区での支え合い推進のための意見交換会を実施した。 1/29：7区センター

④ 情報発信事業

ア 当期はフェイスブック上で、当法人の活動のみならず、住民活動も積極的に情報発信した。また、町主催の地域ケア会議や課題検討会、ボランティア連絡協議会等へ出席し、専門職や事業所等へも情報発信を行った。

⑤ 多世代交流事業

ア 読書交流会（仮称）の開催 ※感染症拡大により未実施

⑥ 認知症、介護予防事業

ア 訪問活動

認知症地域支援推進員が主となって、おしゃべり日和や集落居場所のほか、認知症家族の会やオレンジカフェ、サロン会場、世帯等への訪問を積極的に行った。サポーター養成講座にも協力し、寸劇を演じて児童や先生方、住民に認知症について分かり易く啓発することができた。

イ 五ヶ瀬版ラジオ体操の推進

当法人が製作した五ヶ瀬版ラジオ体操をおしゃべり日和や集落居場所で活用した。

ウ 介護予防サポーター養成講座で取得した予防体操を活用しての予防推進

当期は町主催の介護予防サポーターフォローアップ事業に3名が参加し、正しい運動と指導方法を習得し実践した。

エ 認知症地域支援推進

当期は町から受託した認知症地域支援推進員が主となり、おしゃべり日和や集落居場所での活動の他、福祉課と連携して認知症家族の会やオレンジカフェ、サロン会場、個別訪問時に推進した。当期は、特に福祉課との情報共有、協議に重点を置きながら町内での推進活動を積極的に行った。

⑦ 広域連携事業

ア さわやか宮崎ブロック活動

今期も住民主体の「助け合い・支え合い」の仕組み創出のための勉強会に参加し、経験豊富な構成団体や全国の事例から貴重な学びを得ることができた。支え合い推進役である生活支援コーディネータ（SC）の勉強会に主催側としても携わり、県内のSC等とも情報交換の場を持つことができた。

＊多様性の勉強会：宮崎市清武（6/18、11/19）

＊支え合い推進勉強会、フォーラム打ち合わせ：町内、都農町、宮崎市清武
（8/22、9/15、9/29、10/19、11/20、12/9、12/18、3/15）

＊支え合う支え合いフォーラム：宮崎市（11/29）

⑧ 研修等事業

ア 学びの場への参加

町内外の様々な機関が主催する研修会、会議、シンポジウム、講座、意見交換の場積極的に参加し、毎月 of 定例会において会員相互の情報共有も行った。

・ボランティア連絡協議会（防災ボラ連含む）（6/29、10/16、1/19、3/14）

・SC研修等（オンライン：7/13、9/26、10/4、2/5、2/14）

・SC研修等：宮崎市（9/11、9/14、2/6）

・いきがい・助け合いオンラインフェスタ（10/2～10/16）

・五ヶ瀬町高齢者福祉計画、介護保険計画策定委員会（11/2、12/25、2/8）

・県北ボランティア協議会研修会：高千穂町（11/4）

- ・地域連携ネットワーク会議：日之影町（6/23、1/31）
- ・NPO 研修：リモート（2/22）
- ・高千穂高校運営協議会：高千穂（2/27）

イ 学びの場の創出

- ・認知症サポーター養成講座（8/22）

⑨ その他理事会で実施を決定した事業

実施なし

（2）その他の事業

実施なし